

佐伯市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム2026

1 目標

佐伯市耐震改修促進計画に基づき、住宅の耐震化を促進するため、住宅所有者の経済的負担の軽減を図るとともに、住宅所有者に耐震診断の実施及び耐震改修等による耐震化を促していく。耐震診断を行う建築士や改修事業者に対しては、技術力の向上や改修コストの縮減を図るためのノウハウの共有等により、本市の状況を踏まえた取組を行うことが重要である。

このため、佐伯市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム(以下「アクションプログラム」という。)を作成し、毎年度、住宅耐震化に係る取組を位置付け、その進捗状況を評価すると共に、プログラムを見直し、改善を図ることで、住宅の耐震化を強力に推進していく。

2 位置付け

アクションプログラムは、佐伯市耐震改修促進計画に位置付ける。

3 取組内容・目標・実績

令和8年度取組内容

【財政的支援】

- i)住宅の耐震診断費に対する補助を実施
- ii)住宅の耐震改修費(補強設計費等を含む。)に対する補助を実施

【普及啓発等】

- i)住宅所有者に対する直接の啓発
市報等で希望者を募集する。
- ii)耐震診断実施済みの所有者に対する耐震化の意思確認
前年度、耐震診断実施済みの所有者に電話等により改修の意向を確認し、最適な補助制度等の説明を行う。
令和8年度に耐震診断を行う所有者に対し、診断完了時に改修に向けた意向調査及び補助制度等の情報提供を行う。
- iii)改修事業者の技術力向上等
県建築物総合防災推進協議会と共に改修設計及び工事事業者向けに耐震改修工法に関する技術力向上やコスト縮減のための研修を年1回実施する。
- iv)一般市民への周知啓発
リーフレット等により、耐震化の必要性の周知を図る。
ケーブルテレビによる補助制度等の紹介
市報に補助制度と募集期間を掲載し、あわせて啓発を行う。
大分県と共同で耐震キャラバンを行い、制度の周知を図る。

令和8年度目標

- 木造住宅耐震診断補助戸数(20)戸
- 木造住宅耐震改修補助戸数(6)戸
- 戸別訪問の実施戸数(10)戸
うち耐震アドバイザーによる簡易診断戸数(10)戸

前年度までの実績

- 令和7年度
木造住宅耐震診断補助戸数(21)戸
木造住宅耐震改修補助戸数(4)戸
- 令和6年度
木造住宅耐震診断補助戸数(13)戸
木造住宅耐震改修補助戸数(2)戸
- 令和5年度
木造住宅耐震診断補助戸数(6)戸
木造住宅耐震改修補助戸数(0)戸

計画

前年度(令和7年度)取組実績

- 佐伯市の木造住宅耐震診断士名簿をHPと窓口にて紹介
- 4月の市報に補助制度と募集期間を掲載し、あわせて啓発を行った。

前年度(令和7年度)の課題

- 耐震診断後に耐震改修を実施するケースが少ない

自己評価

改善策

- 補助制度、代理受領制度の周知
- 耐震診断実施者への広報